



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2010推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

方針「今後の介護ウェーブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう！

吐息白く職員20名集う 15分間で集めた署名50筆配ったビラ80枚 もう恒例！忘年会前の福祉会全体「松本駅前署名宣伝行動」今年も盛大に！(長野)

12月17日（金）に、福祉会忘年会前に福祉会職員による松本駅前宣伝行動が行われました。行動直前ショットしたハプニング（交通渋滞）もあり、予定時間18時スタートから大幅に遅れ、時間通りに集まっていたメンバーも数人おられ、皆を信じ肩震わせながらも待ち続けて頂きありがとうございます。18時20分に宣伝グッズが到着するやいなやダッシュで宣伝・署名・チラシ配りが始まりました。今年4月に入職したてでも、人生長い分度胸がスワッテいる職員や、11月半ばに入職したばかりで、もうマイクデビューをした職員もいました。寒さと緊張に耐えながらも大きな声で訴え続けました。また、町行く自転車に乗った女性のペダルこぐ足を止め署名をお願いしました。この方は署名を書き終わり、私達が介護従事者と知ると『介護相談』へと発展し、「本人は県外在住。独居の父が数ヶ月前に転倒し骨折。現在入院しているが、今後施設を探さなければならない。手続き等詳しい相談ができる人が近くにいない。どうすればいいか」との内容でした。少々説明をしましたが、「もし、何かあれば私達の施設へ相談に来てください」と住所と電話番号を書き手渡しました。街頭に立ち様々な行動をしていると、多くの方々と出会いますが、今回「介護保険が知られていない」と強く感じたと同時に、私達の今後の役割も新たに再確認できた行動でした。

(社会福祉法人協立福祉会 福祉介護ウェーブニュースNo.2 2010.12.24より)



介護保険改悪反対学習決起集会を開催！各事業所職員・家族の会・地域の方など18名が参加（奈良）



山村理事長から「見直しの意見」の内容や動向の説明を受け、各事業所から、改悪で懸念される利用者・事業所への影響について報告。利用者の生活や介護が困難になること、事業所にとっても重大な影響があることが事例や数字をもとに報告されました。介護職員から、現在の待遇と今後求められる役割への不安について、家族の会の方から、施設の介護への感謝と改定内容についての怒りをご報告頂きました。

した。最後に、厚生労働大臣への「介護保険見直しについての要望書」を確認し、現在700筆の署名を早期に1,000筆達成することや、今後も介護保険の見直しに関して必要なたたかいや対応を行っていく事を確認して終了しました。（2010年12月21日 社会福祉法人秋篠茜会より）

2010年度「青森民医連ケアマネジャー研修会」に48名が参加！ 「民医連の組織の持つ力、優位点であるチームでの関わり」に改めて確信（青森）



2010年11月13日（土）に、青森民医連高齢福祉委員会主催の「2010年度青森民医連ケアマネジャー研修会」が開催され、事業所で従事するケアマネジャーを中心に、48名が参加しました。

野村美恵子事務局次長のミニ講演「介護をめぐる情勢と民医連の介護・福祉の理念」で、介護保険制度のこの10年間の動きと、2012年の介護保険制度見直しの論点について学習しました。「あくまで自助・互助を基本とした地域包括ケアの考え方」や「制度持続のための利用者負担の増額やサービス低下」「當利化・市場化路線」に反対し、

抜本的改善を求めるために積極的に署名運動に取り組もうと呼びかけました。

参加者からは、「介護の市場化が進むと大変。保険内サービス、保険外サービスの2階建てのプランとなる。改定でなく本当に改悪である。」「明らかに利用者負担が増える改定は許せない。福祉の考え方方が崩壊していくのは恐ろしい事だ。民医連のケアマネとして周りの人に訴えていきたい」との感想が寄せられた。

その後、各事業所からの事例報告とグループワークを行い、それぞれが困難な事例にあきらめずにアプローチしている懸命な姿に感激し、「民医連の組織の持つ力、優位点であるチームでの関わり」に改めて確信を持ち、「また日々の業務に頑張れる」と元気になって帰った研修交流会でした。

（2010年12月8日 青森民医連 野村美恵子さんより）



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp